

やまぜんホームズ (1440)

三重県など周辺エリアで注文住宅を主軸に事業展開

フィリップ証券株式会社

TOKYO PRO Market | 住宅建設 | 会社紹介

BLOOMBERG 1440:JP | REUTERS 1440.T

- 2016/7 通期は売上高が前期比 16.0%増の 45.53 億円、経常利益、当期利益はともに黒字転換し各々7,540 万円、3,487 万円となった。
- 収益の大半を占める戸建住宅事業は堅調で売上高が拡大し、黒字転換を達成。注文住宅では主力商品である「わんこパック」（建物本体カーテン照明込+自由設計+付帯工事費+長期優良住宅対応）＝1500 万円（税別）で 129 棟（前期 101 棟）、その他の注文住宅・分譲住宅 33 棟（同 39 棟）を引き渡した。
- 2017/7 通期の会社計画は、売上高が前期比 26.9%増の 57.76 億円、経常利益が同 11.8%増の 8,433 万円、当期利益が同 52.1%増の 5,305 万円である。

What is the news?

2016/7 期は売上高が前期比 16.0%増の 45.53 億円、営業利益は同 5.2 倍の 9,875 万円。原価低減で売上総利益率が同 3.9 ポイントもの改善となり、販管費率は主に三重県や滋賀県の営業拠点開設に向けた採用から人件費が増加するなど悪化したが、営業利益率は 2.2%と同 1.7 ポイントもの改善となり大幅な増益となった。この結果、経常利益、当期利益はともに前期の赤字から黒字転換し各々7,540 万円、3,487 万円を計上した。

部門別 3 事業の 2016/7 期収益は以下の通り。収益の大半を占める戸建て事業は、注文住宅において主力商品「わんこパック」が 129 棟（前期 101 棟）と増加。同商品以外の注文・分譲住宅の引き渡しは 33 棟（同 39 棟）に留まったが、同事業は売上高が同 14.9%増の 44.29 億円、営業利益が同 17.1 倍の 1.75 億円と収益を牽引した。和食、洋食と多業態を展開する飲食事業は、新規にステーキレストランを出店し直営の同社ブランド 4 店、FC1 店となったが売上高が 8,284 万円、営業損失 5,170 万円。前期より事業部化したため、2015/7 期との収益比較はない。その他事業は介護事業が主力で認知症対応型・共同生活介護のグループホームの運営のほか、賃貸アパートの管理業務などを行っている。介護事業で人材の採用や確保などコストが増え、同事業は売上高が同 41.2%減の 4,319 万円、営業損失が 2,533 万円（前期 527 万円の黒字）の赤字に転落した。

How do we view this?

同社は、注文住宅において料金設定がシンプルで価格訴求力のある「わんこパック」を軸に収益拡大を目指している。特に 1 次取得者向けに大手住宅メーカーと地場の工務店の狭間の住宅取得層をターゲットとしている。アフターフォローとして 10 年で 5 回の定期点検を行い、お客様感謝祭を実施するなど三重県と周辺地域での地域密着の事業展開を行っている。2017/7 通期の会社計画は売上高が前期比 26.9%増の 57.76 億円、営業利益が同 30.1%増の 1.28 億円、経常利益が同 11.8%増の 8,433 万円、当期純利益が同 52.1%増の 5,305 万円と 2 桁増収増益である。

業績推移

事業年度	2014/7	2015/7	2016/7	2017/7予
売上高(千円)	3,219,623	3,928,576	4,555,303	5,776,426
経常損益(千円)	-316,414	-37,018	75,405	84,332
当期純損益(千円)	-318,146	-63,877	34,870	53,052
EPS(円)	-212.10	-42.59	23.25	35.37
BPS(円)	424.75	382.17	405.42	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-

(※)2016/10/31に1:100の株式分割を実施。

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

会社概要

1978年、前野代表取締役社長が独立し、建築リフォーム業を目的としたやまぜん開発(現、やまぜんホームズ)を個人事業として創業。現在のやまぜんホームズは、2003年に資本金1,000万円で設立された。

注文住宅を中核として、地元の三重県のほか、愛知県、岐阜県、滋賀県で事業を展開している。今後も同地域内での事業展開エリアを徐々に拡大し、地域密着と価格訴求力により収益の拡大を目指している。現場第一主義を掲げ、「十年先もお宅でお会いしましょう」の理念のもと、アフターメンテナンスに注力している。

企業データ

主要株主(2016/12/31)	(%)
1.株式会社フロンティア	38.7
2.前野一馬	20.7
3.前野泰弘	20.6

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

袁 鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく告知事項＞

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。